

新しい年になり、もう立春を過ぎました。日射しも明るくなっています。
さて12月には、13日に年忘れの会も楽しく盛り上がりました。
きょうは、久しぶりの顔合わせとなります。年が改まってまた、心も新たに
「古事記」の世界に惹かれ、古事記を読んでみましょう。何かしら発見があり、
自身の古事記への思いも積み上がっていくことを願っています。きょうも、大
国主神の あたりから読みます。思った事を出してください。

前回の流れ

再度読み直しをしようと、大国主神（1）稲羽の素戔から音読しました。

（75p～）

（2）根の堅州国訪問 では、

『キサカヒ比売とウムカヒ比売を遣わして作り活けしめき。・・・キサガヒ比
売きさげ集めて、ウムカヒ比売待ち承けて、母の乳汁を塗りしかば、麗しき壮
夫と成りて、出で遊び行きき。』

のところで、小学館「古事記」の訳では、石に付着していたオオナムチのから
だを石からこそげ取ると訳しているが、他書の多くはこそげ取るのは赤貝で、
オオナムチの体ではない。火傷に対する民間療法からすると他書のように、こ
そぐ対象は焼いた赤貝の殻であろう。という意見がでる。

今回、別紙服部氏提案がある。

大国主の生き返りの話の中に、和薬の話が潜んでいるとは？！

また、イズミ氏は、「大国主神をめぐる ナゾ」として、討議資料を準備
してくださった。1 大国主神 名のりのナゾ 1, 1 大国主は神か命か。
1, 2 オホクニ{大国}の意味は？ 2, 大国主と少名比叺古那のナゾ 3、
大穴牟遲 神の ナゾ 4, 葦原色許男 神 5, 八千矛 神 6, 宇都志 国
王 神 等々

イズミ氏は、あらかじめ大国主について、気になる点を整理し、準備して来
られた。その姿勢に感心し、自分も心がけたいと思う。

気になる事を話し合っているうちにカツラの話が出てくるところ

（4）天若日子の派遣 までは読めないことになる。

今回は、ここからです。

別紙の服部先生の提案について、内容を読んで他書の解釈など集め、比べて
てみましょう。なお、服部先生は、今回欠席です。

